



ぶどう特報 No.5



2021年6月3日
JA 中野市営農センター
JA 中野市ぶどう部会

4月中～下旬の低温で生育がやや停滞し、園地の条件により生育がバラついている状況です。

自身の園地を巡回し、展葉のステージや開花状況を園地ごとにしっかり確認して、適期の防除に努めましょう。

なお、連続した降雨が予想される場合は、定期防除を前倒しして実施しましょう。

2021年	発芽 (平年比・前年比)	開花予想 (平年比・前年比)	満開予想 (平年比・前年比)
巨峰 (長梢・自然系)	4/23 (-4・-7)	6/5 (-2・±0)	6/8 (-2・±0)
シャイン (短梢H型)	4/27 (-4・-6)	6/8 (-2・±0)	6/13 (-2・±0)

【第7回 定期散布】

散布時期	落花直後 (前回防除から10日後頃)	散布日	6月 日
散布薬剤	水	100 L	
	コテツフロアブル (劇)	50 ml	(60日前・2回以内)
	スイッチ顆粒水和剤	33 g	(30日前・2回以内)
	ジマンダイセン水和剤	100 g	(45日前・2回以内)
散布量	400L / 10a		
適用病害虫	晩腐病、べと病、灰色カビ病、褐斑病、黒とう病 チャノキアザミウマ、(アザミウマ類)、フタニヒメコバエ、(クビアカサシバ)		
注意事項	<p>※ジマンダイセン・ゾーベックエニベル・ペンコゼブ・リドミルなどのマンゼブ成分を含む農薬は、年間の使用回数が2回となっているため注意する。</p> <p>① 主幹害虫対策のため、主幹・主枝にもたっぷり散布する。</p> <p>② アザミウマ類対策のため、花穂(ぶどうの軸)にしっかりと薬液が達するようにたっぷりと散布する。</p>		

※重要※ 黒とう病 に注意してください。

梅雨に入ると黒とう病感染のリスクが高まります。以下の点に注意しましょう。

- ① 症状の確認 ⇒ 右写真参照 (葉病斑)
 - ・葉には淡褐色～黒褐色の病斑ができ、しだいに穴が開く
 - ・新梢には淡褐色の病斑が現れ、しだいに範囲が広がる
 - ・雨により伝染し、葉や新梢のほか花穂・果粒・巻きひげなどの緑色の部分を侵して病斑をつくり、生長を妨げる
- ② 防除の実施 ⇒ 10日間隔の定期防除の徹底
- ③ 草刈りの実施 ⇒ 下草から感染の恐れあり
- ④ 昨年発生した場所の確認 ⇒ 昨年の病斑が伝染源となる
- ⑤ 被害の確認 ⇒ 病斑のある枝や葉は園地外へ持ち出す



黒とう病の病斑の早期に発見することで被害の拡大を防げます。

花穂や果粒 (幼果) への感染は商品性が失われます。

過去に発生があった園地や若木の園地は特に注意して確認をしてください。

次回特報配布予定：6月17日 (木)

裏面あり

～ 生育状況・管理について ～



◆ シャインマスカットの房づくり（果房管理）について 参考：2019年3月発行「シャインマスカット栽培マニュアル」

房きり	<p>時期：開花1週間前～開花始め・満開頃</p> <p>房きり長さ目安：開花前2.5～3cm・満開時3.5cm</p> <p>先端が分岐したり軸が変形した花穂が多い場合や、未開花症状が心配される場合は、上記目安よりも長めに房きりして、「あら摘粒」の際に段数調整・房の整形をする。</p>
1回目ジベ処理	<p>時期：満開～満開3日後</p> <p>濃度：ジベレリン25ppm+フルメット5ppm（水2ℓにジベ2錠とフル1本）</p>
あら摘粒 (段数調整・房の整形)	<p>時期：1回目ジベ処理後7～10日後、粒の大小や粒のバラツキ具合・支梗の位置・房の形がある程度判明してきたら、「あら摘粒」を開始する。</p> <p>基本的な「あら摘粒」の方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標とする出荷規格に合わせて段数（軸長）調整する。 ・ 房尻の形が悪い場合は、「よい房型になりそうな部分」を決めて、房尻を切り上げたり、分岐を切除したりする。 ・ モグリ粒（下向き・内向きの粒）・極端な大粒・小さい粒・奇形の粒を中心に摘粒して35～40粒以下にする。
☆☆ 重要 ☆☆ 早期の実施で 高品質化	
2回目ジベ処理	<p>時期：満開10日～15日後</p> <p>濃度：ジベレリン25ppm（水2ℓにジベ2錠）</p>
仕上げ摘粒	<p>時期：2回目ジベ処理後、果粒の肥大程度や粒の配置・房型がおおむね確定してくるので理想的な（キレイな）房型を意識しながら、「仕上げ摘粒」を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肥大が進んで下や内側を向いたモグリ粒を中心に摘粒し、35粒程度に仕上げる。

～ お知らせ ～

◆ 新規就農者・新規ぶどう栽培者向け ぶどう栽培管理定期講習会（全4回）

近年、新規就農者・新規ぶどう栽培者が増加傾向なため、「ぶどう栽培管理における基礎知識」を習得することを目的とした定期講習会を計画しました。ご都合をつけてご参加ください。

月日(曜日)	時間	会場	主な内容
6月7日(月)	16:00	営農センター裏 平岡試験圃場	新梢管理（芽かき・捻枝・誘引） 房づくり（房きり）
6月17日(木)	11:00		新梢管理（摘心・副梢整理） 房づくり（ジベ処理）
6月25日(金)			房づくり（あら摘粒）
7月2日(金)			房づくり（仕上げ摘粒・着果管理） 新梢管理（夏季の枝管理）

※園地の生育状況により一部内容を変更する場合があります。 ※講習会は30分～1時間を想定しています。
※技術員が作業を実施しながら、時期ごとの管理の目的や考え方、作業風景を確認する形式で講習会を進めます。